

| | | | |
|---|---|-------------|---------------------------------|
| 令和3年度 | | | |
| 講習の区分 | <選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域 | 講習時間数 | 6 時間 |
| 講習の名称 | 【選択】授業実践力をつける 一小学校国語一 | 講習形態 | 講義、演習 (遠隔授業) |
| 開 設 者 | 長崎大学 | 定 員 | 40 名 |
| 開設日/ 時間 | 令和3年8月5日(木) /9:15~16:30 | 会 場 | インターネットを受信できる場所 (職場もしくは自宅など) |
| 履修認定対象職種 | 教諭 | 主な受講対象者 | 小学校 教諭 |
| 担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 鈴木 慶子(人文社会科学域) / kyoumen@ml.nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2872 | | | |
| 担当教員(分担担当者等) 達富 洋二(佐賀大学教育学部) | | | |
| 講習のねらい/講習方法/講習到達目標 | | | |
| <p>講習のねらい：小学校国語科において、児童に学力の身につく授業が実践できるようにする。そのために、教材研究法、単元作り、展開方法について理解を深める。</p> <p>講習方法：小学校国語の教材(物語)について、午前に、理論研究、教材研究について90分ずつ講習を行う。随時講習内容に関する質問を受け付ける。それをふまえて、午後は、単元作りについての講義と演習を行う。なお、末尾に、本講習全体に関する20分間程度の筆記試験を行う。</p> <p>講習到達目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定番教材を通して、言語活動が活発になる単元作りを具体的に構想することができる。 ・具体的な「学習-指導」場面を想定しながらその有効性等について理解し、説明することができる。 | | | |
| 講習内容(概要) /講習計画(時間毎の講習内容を含む) /キーワード | | | |
| <p>講習内容(概要)</p> <p>現代的な教育課題の解決に資することを目的として、新学習指導要領の動向も視野に入れつつ、国語教育学における新たな知見を紹介します。すなわち、児童の基礎学力の保証、問題解決能力の育成といった教育現場における課題の解決をふまえて、実際の授業作りについて講義・演習を行います。</p> <p>また、受講者の実践上の悩みにも対応しながら、その解決にむけた知見を提供することを通して、小学校国語科の学習指導のさらなる充実を図ります。</p> | | | |
| 講習計画・内容 | | | |
| | 内容等 | 時 間 | 担当教員 |
| | オリエンテーション | 9:15~9:20 | 鈴木 |
| | 講義1 事例研究「大造じいさんとガン」の視写と、視写読み | 9:20~10:50 | 達富 |
| | 講義2 「大造じいさんとガン」の教材的価値から物語文の教材的価値へ | 11:00~12:30 | 達富 |
| | 昼休憩【50分】 | 12:30~13:20 | |
| | 講義と演習 単元作りワークショップ (休憩10分含む) | 13:20~16:10 | 鈴木 |
| | 筆記試験(発表も含む)20分 | 16:10~16:30 | 鈴木 |
| キーワード (小学校) (国語科) (言語活動) | | | |
| 成績評価の方法 | 成績評価は、末尾に行う試験の成績や講習中の課題への取組み等から総合的に判断します。 | | |
| 成績評価の基準 | 成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。 | | |
| 履修認定の方法 | 成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。 | | |
| 教科書・教材・参考書 | 指定図書はありません。 | | |
| 各自で準備するもの | 『小学校学習指導要領(平成29年公示)解説』(国語編) | | |
| 受講上の注意 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。 | | |

